

# キリスト教教理入門

1. 神学をすること
2. 神の啓示
3. 神の性質
4. 神のみわざ
5. 人間
6. 罪
7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

## 1. 神学の性質

# 1. 教理の学びとしての神学

- 最も基本的な信仰-単純な陳述
- 注意深い、組織的な研究と分析
  1. 聖書的
  2. 組織的
  3. 人間の文化の脈絡において
  4. 今日的
  5. 实际的

## 1. 神学の性質

# 2. 教理の学びの必要性

- イエスへの愛だけで十分?
  1. 信仰者と神との関係で必須のもの
  2. 真理と経験の結びつき
  3. 競合している世俗と宗教の思想の体系
- 合衆国財務省の偽札のチェック方法

## 1. 神学の性質

# 3. 科学としての神学

1. 客観的・科学的研究の対象の一つ
2. 科学的知識についての伝統的な基準
3. 同じ論理のルール、伝達可能性
4. 特別な立場をもつ科学

## 1. 神学の性質

# 4. キリスト教教理研究の出発点

1. 知識が引き出される資料源は?
2. 憲法に矛盾するいかなる法律も無効
3. 聖書は人間の手によって改訂されえない
4. オウム返しではなく、再表現・再適用

## 2. 神学の方法

# 1. 聖書の材料の収集

1. 関連聖句の箇所の確認
2. 注解書の著書の立場
3. 聖書の著者が聴衆に語っているもの
4. 種々の聖書資料の研究

## 2. 神学の方法

# 2. 聖書の材料の整理

---

1. 相違した状況 - ひとつの主題
2. 相違した5%を一致のある95%で

## 2. 神学の方法

# 3. 聖書の教えの意味の分析

---

1. 今日的な意味を読み込まない
2. この箇所の本当の意味は何か



## 2. 神学の方法

# 4. 歴史的取り扱いの吟味

---

1. ひとつの教理 - 歴史の中での見方
2. 他の神学者がどう扱ったか

## 2.神学の方法

# 5.教理の本質のみきわめ

---

1. 聖書の教えは特別な状況下で記述

## 2. 神学の方法

# 6. 聖書以外の資料からの光

1. 第一義的資料だが、唯一の資料ではない
2. 神の像が何を意味しているのか
3. 非聖書的学問も神学知識に貢献
4. 時期尚早な結論をださない

## 2. 神学の方法

# 7. 教理の今日的表現

1. ティリッヒの「呼応の方法」
2. 生の個人的な次元に対する必要
3. 聖書時代から現在へのメッセージの再表現
4. 相違する文化において相違する表現形式
5. 複雑さと知的教養の相違したレベル

## 2. 神学の方法

# 8. 解釈における中心的な主題の深化

---

## 1. 神学に特性を与えることの意味

## 2. 神学の方法

# 9. 主題における層形成

---

1. 主要な論争点、副次的なポイント
2. 神学的主題の相対的重要性

# ICIインフォメーション

---

- この講義はテープとMDで録音されており、必要な方にお分かちしています。関心のある方はご連絡ください。